

統計トピックス

平成17年人口動態統計月報年計(厚生労働省平成18年6月1日公表資料より)

平成18年6月1日、厚生労働省から「平成17年人口動態統計月報年計」が公表された。その中から、沖縄県が全国の上位(下位)にランクインした資料をピックアップした。

1. 31年連続日本一の出生率

平成17年の沖縄県における出生率は11.8(人口千対)で、昭和49年から連続して日本一となった。

全国的には、出生数から死亡数を引いた「自然増加数」は、調査を開始した明治32年以降初めてマイナスとなり、人口が減少化していく流れになっている。

出生率(人口千対)		
都道府県	順位	指数
全国値	—	8.4
沖縄県	1	11.8
愛知県	2	9.5
滋賀県	2	9.5

死亡率(人口千対)		
都道府県	順位	指数
全国値	—	8.6
沖縄県	47	6.6
神奈川県	46	6.8
千葉県	45	6.9

合計特殊出生率		
都道府県	順位	指数
全国値	—	1.25
沖縄県	1	1.71
福井県	2	1.47
福島県	3	1.46
宮崎県	3	1.46

自然増加率(人口千対)		
都道府県	順位	指数
全国値	—	△ 0.2
沖縄県	1	5.2
愛知県	2	2.1
神奈川県	3	2.0

婚姻率(人口千対)		
都道府県	順位	指数
全国値	—	5.7
東京都	1	7.0
神奈川県	2	6.5
沖縄県	2	6.5

離婚率(人口千対)		
都道府県	順位	指数
全国値	—	2.08
沖縄県	1	2.69
北海道	2	2.42
大阪府	2	2.42

2. 全国一低い三大疾病による死亡率

沖縄県において、三大疾病(三大生活習慣病)と言われるがん・心臓病・脳卒中による死亡率はそれぞれ全国で最も低い値となっている。

しかし、肝疾患や慢性閉塞性肺疾患による死亡率は高い値となっている。

◆死亡率(人口10万対)が低い死因

全死因(人口10万対)		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	858.9
沖縄県	47	663.1
神奈川県	46	679.4
埼玉県	45	689.1

悪性新生物(がん)		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	258.2
沖縄県	47	184.7
埼玉県	46	217.6
神奈川県	45	219.2

心疾患(心臓病)		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	137.1
沖縄県	47	92.3
神奈川県	46	101.8
福岡県	45	110.2

脳血管疾患(脳卒中)		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	105.2
沖縄県	47	58.3
大阪府	46	77.9
神奈川県	45	80.1

肺炎		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	84.9
神奈川県	47	64.0
沖縄県	46	66.3
埼玉県	45	66.4

不慮の事故		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	31.5
沖縄県	47	20.9
東京都	46	21.1
神奈川県	45	22.2

老衰		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	20.9
大阪府	47	10.7
沖縄県	46	12.9
北海道	44	13.9
埼玉県	44	13.9

腎不全		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	16.3
神奈川県	47	11.0
埼玉県	46	11.4
千葉県	45	12.3
沖縄県	44	12.7

◆死亡率(人口10万対)が高い死因

肝疾患		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	13.0
沖縄県	1	17.6
徳島県	2	16.7
大阪府	3	16.4

慢性閉塞性肺疾患		
都道府県	順位	死亡率
全国値	—	11.4
徳島県	1	20.6
鹿児島県	2	18.5
沖縄県	3	17.9